

報道関係者 各位

MILAI SAILING TEAM / 鈴木 晶友
**単独大西洋横断ヨットレース「ルート・デュ・ラム 2026」に出場
11月1日、フランスをスタート**

～仲間とともに築いた挑戦。いよいよ、ひとり大西洋へ。そして世界一周へ～

2028年の単独無寄港・無補給世界一周ヨットレース「ヴァンデ・グローブ」への挑戦を目標とするプロセーラーの鈴木晶友（すずき・まさとも／Masa Suzuki）は、2026年11月1日にフランス・サン＝マロをスタートする単独大西洋横断ヨットレース「ルート・デュ・ラム 2026」に、IMOCA60クラスの〈MILAI-FURUNO〉で出場します。全長18.3mのヨットを一人で操り、カリブ海のグアドループ島まで、3542海里（約6,560km）の大西洋横断に挑みます。今回のレースは、ヴァンデ・グローブ2028-29の出場資格獲得に向けた重要な一戦となります。



ルート・デュ・ラムの出場する〈MILAI-FURUNO〉 ©Route du Rhum - Destination Guadeloupe

■多くの仲間とともに実現した大西洋横断への挑戦

鈴木晶友は、2028年ヴァンデ・グローブへの挑戦を実現するため、2025年秋からMILAIプロジェクトの立ち上げ活動を開始しました。同年10月には、フランス人セーラーのルイ・デュックとともに大西洋横断レース「トランザット・カフェ・ロール」に出場し、IMOCA艇での経験を積みました。

その後、私財を投じて艇の購入を進める一方、日本全国、ヨーロッパを巡って共同オーナーやスポンサーを募りました。現在、プロジェクトを支えるのは25名の共同オーナー、250名以上のクラウドファンディング支援者、20社の協賛企業、そしてボランティアやチームメイトなど、多くの仲間たちです。

一人のセーラーの夢から始まった挑戦は、多くの人々に支えられるプロジェクトへと発展。2026年11月、鈴木は仲間とともに準備を重ねた艇で、単独大西洋横断レース「ルート・デュ・ラム 2026」に挑みます。

■鈴木晶友コメント

「多くの方々の支えがあって、ここまで来ることができました。洋上では一人ですが、この挑戦はもう私一人だけのものではありません。応援してくださる一人ひとりの存在を感じながら、日々海に向き合っています。最新の IMOCA 艇とは性能差がありますが、同じスタートラインに立ち、自分たちの力でどこまで戦えるのか、とても楽しみにしています。まずはこのレースで全力を尽くし、ヴァンデ・グローブへの出場に必要な条件を一つクリアすること。そして、その先にある単独無寄港世界一周レース『ヴァンデ・グローブ 2028-29』の完走へとつなげていきたいです」

■大会概要

大会名：Route du Rhum – Destination Guadeloupe 2026
スタート：2026 年 11 月 1 日 13 時 02 分（フランス時間）予定
日本時間 同日 21 時 02 分
コース：サン＝マロ（フランス）→ポワントピートル（グアドループ島）
距離：3,542 海里（約 6,560km）
出場クラス：IMOCA60（IMOCA クラス 22 艇参加）出場全クラス合計 94 艇
艇名：MILAI-FURUNO
セール番号：JPN22
大会公式サイト：<https://www.routedurhum.com/>

■大西洋横断から世界一周へ

ルート・デュ・ラム 2026 は、ヴァンデ・グローブ 2028 年大会の出場資格を得るための指定レースの一つです。ヴァンデ・グローブに出場するスキッパーと艇の組み合わせで、IMOCA60 クラス優勝艇の所要時間の 2 倍以内に完走し、正式な順位が付くことが資格要件の一つとなります。主催者の承認や別途の出場者選考も必要なため、この一戦の完走だけでヴァンデ・グローブへの出場が確定するわけではありません。

▶鈴木 晶友 profile

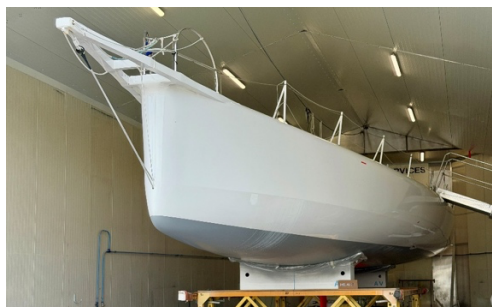


鈴木 晶友（すずき まさとも）
1985 年 8 月、千葉県生まれ、法政大学卒業
プロジェクト公式サイト：<https://milai-sailing.com>

小学生の時に OP 級でセーリングを始める。ディンギーでのレースに夢中になり法政大学ではヨット部に所属。国体やモス級世界選手権など国内外を問わず数多くのレースに出場。その後、外洋レースに転向し、着実に経験を積みながら、最高峰の外洋レースと言われる「ヴァンデ・グローブ」への挑戦を目標とする。

- ・2019 年 単独大西洋横断レース「ミ・トランザット」出場（24 位/65 艇）
- ・2022 年 世界一周ダブルハンドレース「グローブ 40」に日本人として初出場（3 位/7 艇）
- ・2025 年 大西洋横断ダブルハンドレース「トランザット・カフェ・ロール」出場（14 位/18 艇）

▶使用ヨット詳細



クラス：IMOCA 60
（イモカ 60/International Monohull Open Classes Association 60ft）
船名：MILAI-FURUNO（ミライ・フルノ）
セール番号：JPN22

進水：2006 年
設計：Farr Yacht Design（ファー・ヨット・デザイン）
フォイルなし。ダガーボート艇
建造：CDK Technologies（シー・ディー・ケイ・テクノロジーズ）
（フランス）

▶お問い合わせ先：MILAI SAILING TEAM E-mail：milai.challenge@gmail.com

参考資料

■ルート・デュ・ラム 2026

4年に1度、フランス北西部のサン＝マロからカリブ海に浮かぶフランス海外県のグアドループへ、一人で大西洋を横断するヨットレースです。2026年大会の距離は3,542海里（約6,560km）。船体の構造や大きさなどに応じた6つのクラスがあり、鈴木はIMOCA60クラスで競います。

2026年大会 エントリークラス/参加艇

・ウルティム：	8艇
・オーシャンフィフティ：	10艇
・クラス40：	28艇
・イモカ60	22艇
・ヴィンテージモノハル	13艇
・ヴィンテージマルチハル	13艇
●トータル出場艇数	94艇

ROUTE DU RHUM 2026

サン・マロからグアドループへ、大西洋を西へ



コース概略図（実際の航跡ではありません）

出発・到着地点は都市位置。スタートライン・グアドループ周回などの詳細は省略。

地図データ：Natural Earth (Public Domain)

■ヴァンデ・グローブ 2028-29

4年に1度開催される、単独・無寄港・無援助の世界一周ヨットレースです。フランスのレ・サブル・ドロヌを出発し、大西洋を南下。喜望峰、ルーウィン岬、ホーン岬を順に回り、大西洋を北上して同じ港へ戻ります。使用艇は全長約18.3mのIMOCA60クラスです。鈴木は2028年大会への出場と完走を目指しています。

VENDÉE GLOBE

レ・サブル・ドロヌを発着し、3つの岬の南を通して東回りに世界一周



コース概略図（実際の航跡・2028年の確定コースではありません）

地理的な進行方向を示す独自図。氷域・航行制限区域、個別の通過点は表示していません。

地図データ：Natural Earth (Public Domain)